

1月15日 「ビブリオバトル」を行いました。

6校時に1・2年生の各クラスでビブリオバトルを行いました。5人くらいのグループに分かれ、全員が順番で1冊ずつ「自分のイチオシ本!」を紹介していきました。小説、勉強法、理系本など幅広いジャンルの本が取り上げられ、普段自分が手に取らない本にも興味を持つきっかけとなっていたようです。

最後は各グループで、チャンプ本(一番読みたいと思った本)を決める投票が行われました。

「本を通して人を知る、人を通して本を知る」。そんなワクワクの1時間になりました。



★ チャンプ本の一例 ～ こんな本が選ばれていました ～

『コーヒーが冷めないうちに』

(川口俊和/著 サンマーク出版)

『チーズはどこへ消えた』

(スペンサー・ジョンソン/著 扶桑社)

『東大医学部在学中に司法試験も一発合格した僕がやっているシンプルな勉強法』

(河野玄斗/著 KADOKAWA)

『カラフル』(森絵都 講談社)



★ 感想より

- ・高校2年生が主人公で、自分と重ねて読んでみたいと思った。
- ・あまり読まないジャンルの本だったけど、あらすじを聞いて興味が出た。
- ・最後の1ページで結末がわかる点に驚いた。関係性がすごく気になる。
- ・「自分がここにいていいって認めてもらうことだ」(という言葉に、)自分自身も勇気づけられた。
- ・(震災がテーマの本の紹介について)震災とコロナの時代は似ているところがあると思った。学べることがある。
- ・(AIに関する本の紹介について)AIと共存を考えなくてはいけないと思った。人間にしか出来ないことについて考えさせられた。
- ・哲学的な本はあまり読んだことがなかったので気になった。語彙を養えるというのが良いなと思いました。